

担い手様向け 農作業場・ライスセンターの建設について



- JA全農にいがたでは、担い手様向けの農作業場・ライスセンター(RC)の建設を推進しており、お問い合わせは年々増加しております。
- 今年度は9施設が竣工し、来年度以降につきましても既に複数の担い手様と協議を進めています。
- JA全農にいがたは「施主代行」という方式で、担い手様に向けた様々な提案、サポートをおこなっておりますが、本レポートでは施主代行業務の内容や、そのメリットについてご紹介いたします。

①施主代行業務とは？

- 依頼主(施主)が行なう施設建設に関わる業務を、JA全農にいがたが施主の立場で支援することです。
- 設計や施工管理など、施設建設には専門的な知識が求められます。
- そのため、JA全農にいがたの担当者が責任を持ってこれら業務を代行いたします。
- 施工業者(建築・機械とも)は入札により決定します。

■具体的な業務内容(一例)

- 補助事業対応のサポート(事業実施計画の作成指導等)
 - 農作業場・ライスセンターの設計、建築確認申請などの申請手続き
 - 入札などの業者選定の段取と契約締結
 - 工事の施工管理の実施
 - 工事代金の精算処理
- など

②施主代行業務のメリットとは？

- メリットその1
→経験豊富な技術者の指導により優れた設計を実現します。
- メリットその2
→多くの工事経験をもとに指名業者の選定や、積算チェックなどを行なうことで、工事費の低減を図ります。
- メリットその3
→J A全農にいがたが施主の立場で工事の管理を行ない、施工不良の防止や、施工業者の責任の明確化に努めます。
- メリットその4
→J A全農にいがたが行なう建設工事には充実した総合補償制度があります。

施工実績

①



②



◆お問い合わせはJ A / J A全農にいがたへ

J A全農にいがたは施設建設を通じて担い手の皆様の支援に取り組んでまいります。農業関連施設の建設をお考えでしたら、お近くのJ AまたはJ A全農にいがたへお問い合わせください。

(施設農機部 施設農住課)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。